



北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 10月11日（金）15時00分

発表項目 (行事名)	令和元年 秋の山の実なり（ヒグマの主要食物）調査結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	発表場所
概要	<p>○ ヒグマの秋の主要食物4種（ドングリ（ミズナラ及びブナの堅果）、ヤマブドウ及びコクワ（サルナシの果実））の実なり状況を調査した結果、例年並みの地点はみられるものの、広範囲で実なりの悪い傾向がみられました。</p> <p>このため、今後、<u>地域によっては、市街地や農地でのヒグマの出没が例年より多くなる</u>可能性があり、今後とも人身事故の未然防止のため注意が必要です。</p> <p>○ なお、道では、ヒグマによる人身被害を防止するため、市町村を始めとする関係機関への通知や道ホームページによる情報発信により、道民の皆さまに対する注意喚起を図ることとしています。</p> <p>※ 堅果類等の実なりには地域差があります。また、本調査は限られた地点での結果に基づくものです。</p> <p>ヒグマ出没には本調査対象の食物の豊凶以外の要因もあり、本調査はひとつの指標でしかないことを十分ご留意ください。</p>		
	<p>【添付資料】 令和元年秋の山の実なり調査結果について</p>		
参考	<p>キノコ採りなどで山野に入る際の被害防止については、令和元年9月7日（土）から10月31日（木）までを期間とする「令和元年秋のヒグマ注意特別期間」を設定し、注意喚起を図っております。</p> <p>（報道発表資料：令和元年9月6日配付）</p>		
報道（取材）に当たつてのお願い	本年は4月に1件、7月に2件、ヒグマによる人身事故（負傷）が発生していることから、積極的な報道による注意喚起をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付（場所）	同時レク	
担当者 (連絡先)	<p>環境生活部環境局生物多様性保全課（担当者：主幹 石井 弘之） TEL ダイヤルイン 011-204-5205 内線 24-384</p>		

## 令和元年秋の山の実なり調査結果について

- **ヒグマの秋の主要な食物4種（ドングリ（ミズナラ及びブナの堅果）、ヤマブドウ、コクワ（サルナシの果実））の実なりの豊凶状況**を調査した結果、例年並みの地点もみられるものの、広範囲で実なりの悪い傾向がみられました。
- このため、今後、**地域によっては市街地や農地へのヒグマの出没が例年より多くなる可能性**があり、人身事故を防ぐため、特に次のことに留意が必要です。

### 【人身被害防止のために注意すべきポイント】

- ① 生ごみ等の放置など、ヒグマを誘引したり定着させたりする原因をつくらないようにしましょう。
- ② 農地で作業する際は、ヒグマの痕跡（足跡やフン）がないか十分に確認するとともに、廃棄農産物を農地内に残置しないようにしましょう。ヒグマが出没している可能性がある場合は、市役所・町村役場に通報しましょう。

図1 ヒグマの秋の主要な食物4種の豊凶状況（各地点での調査結果）

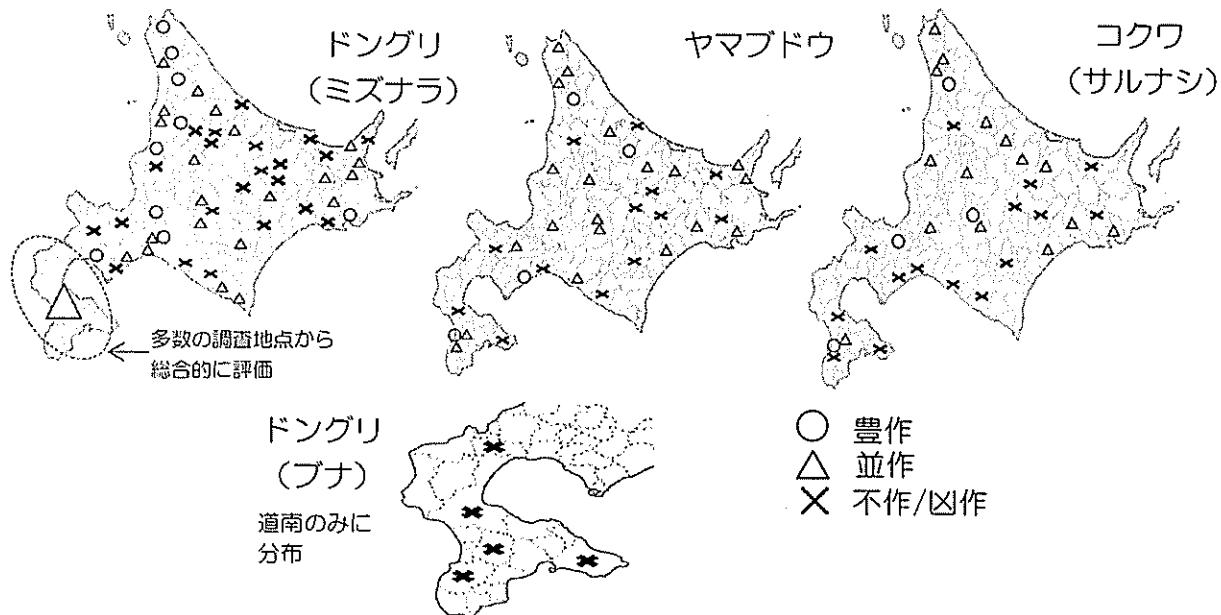
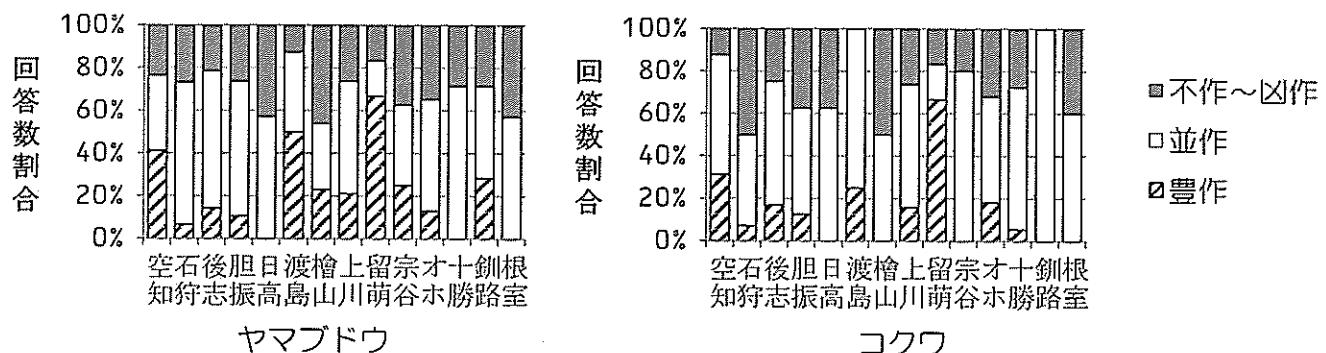


図2 ヤマブドウ及びコクワの豊凶状況  
(振興局単位での鳥獣保護管理員等からの聞き取り調査回答数割合)



## 【調査方法】

豊凶に関する調査方法として、

- ①定点で実施した調査に基づく数値的なもの（定量的情報）
  - ②ある地域における例年との比較に基づく個人による感覚的なもの（定性的情報）
- の2種類の情報を収集しています。

※本年の調査より、北海道森林管理局及び道（総合）振興局森林室職員の調査結果を追加。  
＜ドングリ（ミズナラ）：定量的情報（一部定性的情報含む）＞

渡島半島地域は、地方独立行政法人北海道立総合研究機構が実施した19箇所の調査地における調査、北海道森林管理局及び道（総合）振興局職員が実施した17箇所の調査地における調査結果により総合的に評価。

渡島半島地域以外は、北海道森林管理局、道（総合）振興局職員、市町村、自然環境保全団体、大学演習林等が実施した196箇所の調査地における調査結果。

＜ドングリ（ブナ）（道南地域のみに分布）：定性的情報＞

大学演習林、北海道森林管理局及び道（総合）振興局職員の23地域の定性的情報。

＜ヤマブドウ及びコクワ（サルナシ）：定性的情報＞

大学演習林、道立総合研究機構、北海道森林管理局及び道（総合）振興局職員による地域における定性的情報。

鳥獣保護管理員等（道非常勤職員）から聞き取った定性的情報の回答数割合を振興局単位で算出（回答数はヤマブドウ184件、コクワ165件）。

## 【解説・注意事項】

- 秋（10月～12月）におけるヒグマの市街地や農地への出没の多寡は、その時期の主要な食物の状況と関係があると考えられています。道では、秋のヒグマの主要食物のうちの4つ、2種のドングリ（ミズナラ及びブナの堅果）、ヤマブドウ及びコクワ（サルナシの果実）の実なり状況について、関係機関等の協力を得ながら平成17年から調査しています（参考過去6年の結果：図3～6）。
- 今年の調査の結果、一部地域を除く広範囲でドングリ、ヤマブドウ、コクワの果実が不作～凶作であり、実なりの悪い傾向がみられました。（図1及び2）。
- 最近5年間で実なりが悪かった平成29年度は、地域によって10月から12月にかけての捕獲数が、例年より多くなっています（図7）。
- 堅果類等の実なりには地域差があります。また、本調査は限られた地点での結果に基づくものです。ヒグマ出没には本調査対象の食物の豊凶以外の要因もあるので、ご留意ください。
- 北海道森林管理局の調査結果については、森林管理署等の管轄区域ごとに調査結果を集計し、調査を実施した森林管理署等が所在している市町村に結果を表記しています。
- 道（総合）振興局職員の調査は、保健環境部環境生活課職員と森林室職員の調査になっています。

図3 ドングリ（ミズナラ）の豊凶（H26～R1）

渡島半島地域は、多数の調査  
地点から総合的に評価

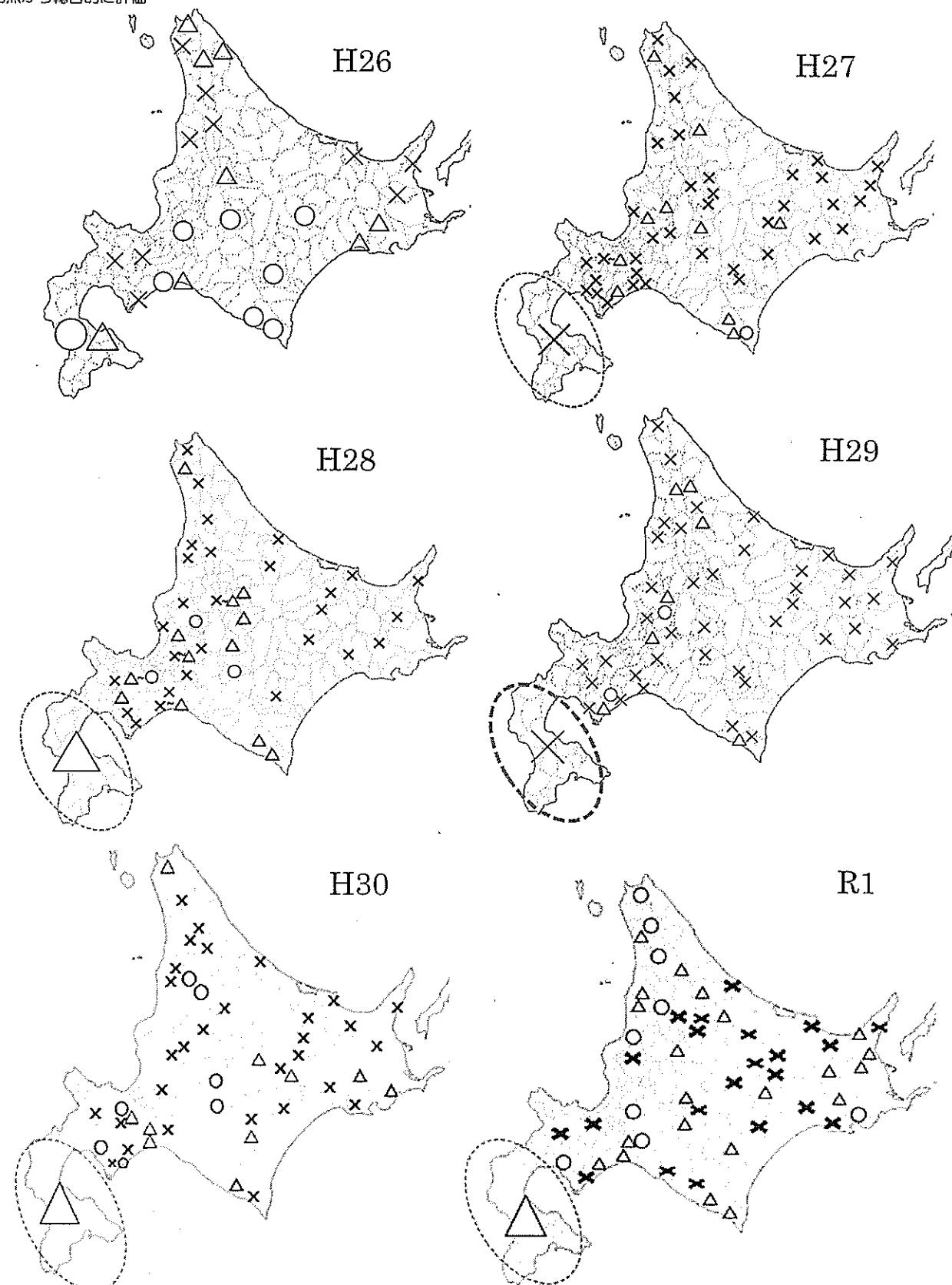


図4 ドングリ(ブナ)の豊凶(H26~R1)

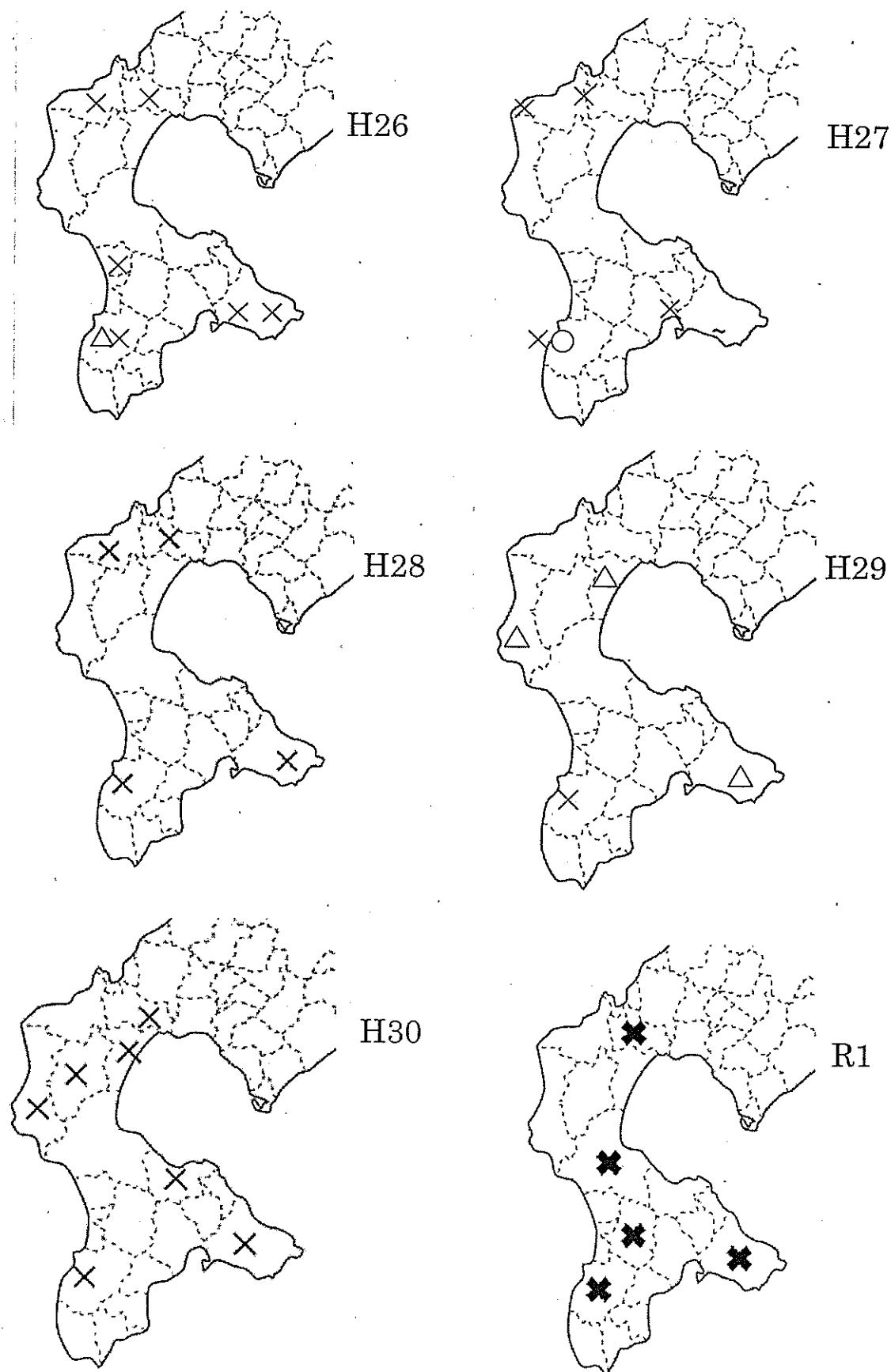


図5 ヤマブドウの豊凶 (H26~R1)

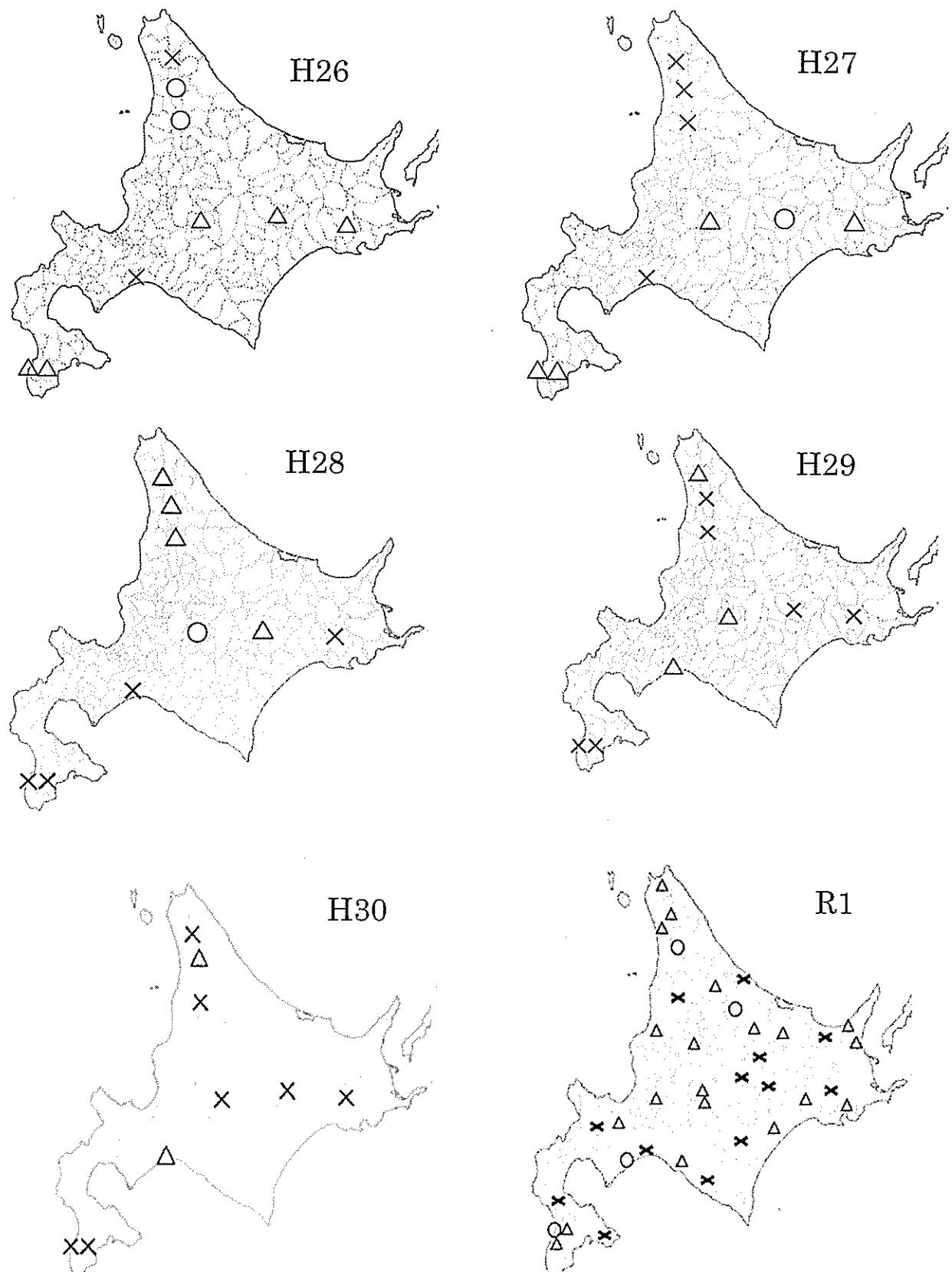


図6 コクワ(サルナシ)の豊凶(H26~R1)

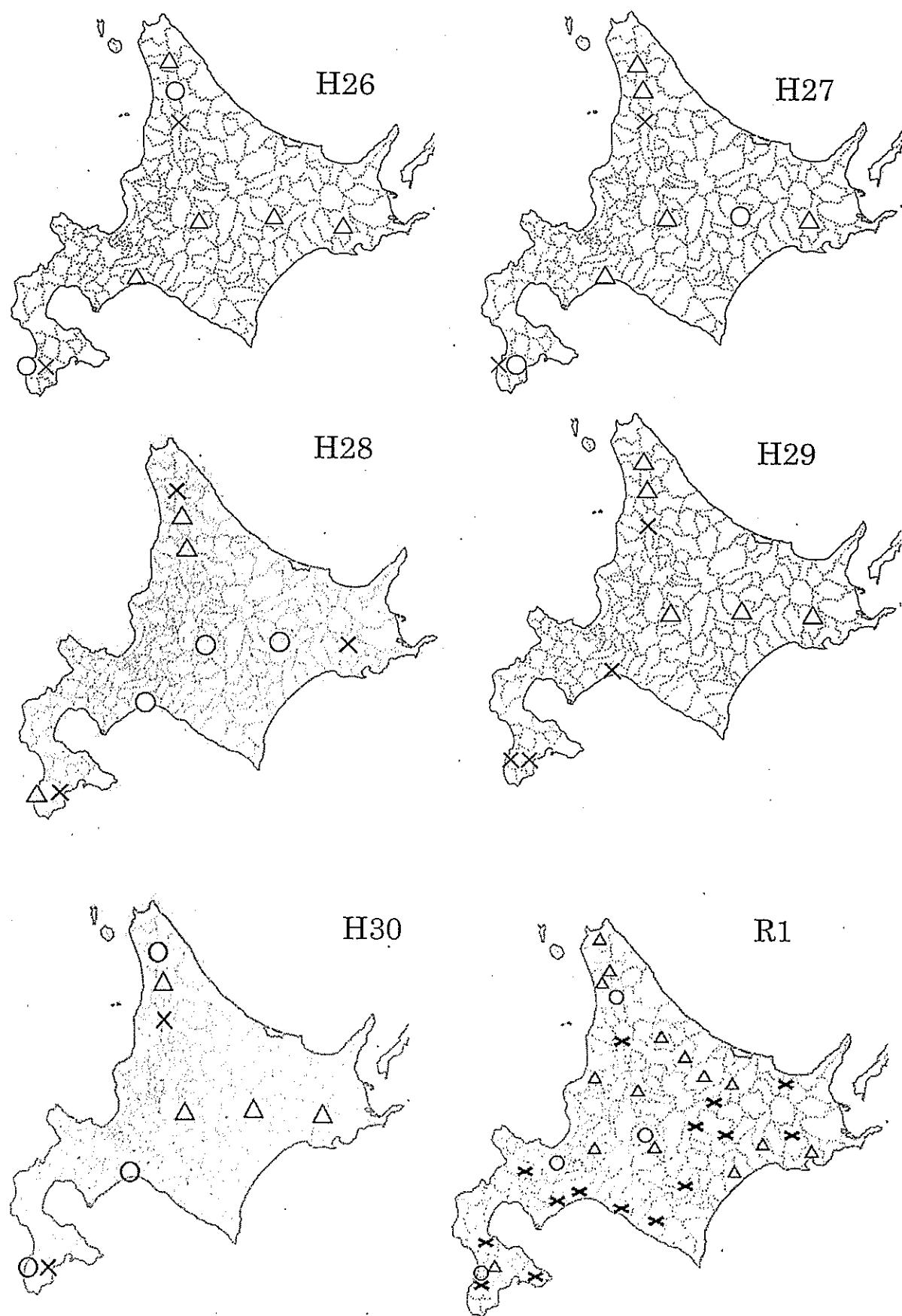


図7 10~12月のヒグマ捕獲数 (H25~H29)

